

すてきな毎日を、いつまでも

もっといしかわ

能登を諦めない。



思いを言葉に、言葉を力に。

メッセージが届いています。

令和6年能登半島地震の発生を受け、石川県ゆかりのみなさんからメッセージが届いています。石川の人や風土を愛してくれる多くの方の思いは、復興を成し遂げる大きな力になります。

一日でも早く
穏やかな日常が
戻ることを
祈っております

元プロ野球選手

松井秀喜

能登半島地震で被災した方々の忍耐力、協調性、前向きな姿を知る度に、同じ石川県人として皆様を誇りに思います。能登の復興と皆様の気持ちを今後も応援してまいります。

PROFILE

能美市出身。巨人、ヤンキースなどで活躍し、09年ワールドシリーズで日本人選手初のMVPを獲得。13年恩師・長嶋茂雄氏と共に国民栄誉賞受賞。



みんなで一緒に
乗り越えましょう

声優

寺島拓篤

石川県にお住まいの皆様、それぞれ異なる状況で大変な思いをされていることと思います。同じ地に生まれた者として、心はいつもそばにいます。一緒に乗り越えましょう。

PROFILE

宝達志水町出身。主な出演作は「わんだふるぷりきゅあー!」(兎山悟役)、「ウルトラマンタイガ」(ウルトラマンタイガの声)。



元日に発生した令和6年能登半島地震は、輪島市、志賀町で県内観測史上最大の震度7を記録するなど県政史上未曾有の大災害となりました。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆さま方に対して心からお見舞い申し上げます。

また、上下水道、電気、通信といったライフラインの損傷や、のと里山海道、国道249号等の道路の崩壊、液状化現象の発生のほか、河

石川県の皆様
一緒に頑張りましょう

大相撲力士
遠藤聖大

どうか、今日を生き抜く事だけを考えて一緒に頑張りましょう。復興は必ずなされます、それが一刻も早い事を心よりお祈り申し上げます。また、復興支援に尽力されている皆様に深く敬意を表します。

PROFILE

穴水町出身。現役大相撲力士。2024年初場所ではふるさとに元気を届けたくて、故郷にゆかりのある化粧まわしを多くつけた。



一日も早い復興を
心より
お祈り申し上げます

バスケットボール選手
赤穂ひまわり

今こそみんなで手と手をとりあい、全員が不安な気持ちを抱えることなく、心から安心して暮らせる日々が訪れることを願っています。一歩ずつ、難しいときには半歩ずつ、前進していきましょう。

PROFILE

七尾市出身。2017年にデンソーアイリスに入団し、第90回皇后杯全日本選手権で初優勝を経験。2020東京五輪では日本の銀メダル獲得に貢献。



毎日、石川の事を
思い続けています

レスリング選手
金城(川井)梨紗子

被災地の方々、引き続き余震と二次災害にはどうかお気をつけください。毎日、地元石川の事を思い続けています。先のことを考えると辛くなると思いますが、**「今」**を生きてください。ずっと応援、協力します。

PROFILE

津幡町出身。至学館高校、大学卒。2016年リオ五輪、2020東京五輪で優勝し大会2連覇を達成。



どんな姿でも、
石川県が
大好きです!

レスリング選手
恒村(川井)友香子

あの日以降、先の見えない日々で辛く不安な毎日を過ごしていると思います。でも今は先のこととは考えず、1日1日を踏ん張って生きてほしいです。少しずつでも前を向いていきますように。石川県がどんな姿でも、私は石川県が大好きです!

PROFILE

津幡町出身。至学館高校、大学卒。2020東京五輪で金メダルを獲得。



で取り組んでいます。

能登の復旧・復興は、これまで本県が経験したことのない長く険しい道のりとなりますが、被災者、被災者、事業者の声をしっかりと受け止め、一日も早く、被災者の生活と生業を再建し、能登の創造的復興の実現に向け、私が先頭に立って、全庁総力を挙げて取り組んでいく決意です。

石川県知事 馳浩

それぞれの思いを胸に

復興に向けた活動の記録。

被災地で、避難所で、今いる場所で。たくさんの人々が被災地や被災者のために立ち上がり、知恵や技術、思いを持ち寄り活動を行っています。一人ひとりが今自分にできることを考え、実践することで、小さな力が大きな力に変わります。



詳しくはWebで公開中

ピンチをチャンスに

「能登かき」を全国区へ



『下村水産』代表 浅井 絢美さん

カキ養殖が盛んな七尾市では、名産である「能登かき」の養殖が大きな被害を受けました。出荷の最盛期を迎えたカキが津波で流され、多くの養殖設備が損壊。そんな中で『下村水産』の浅井さんは、カキ棚の修復を進めながら、再起に向けて歩み始めています。「ありがたいことに応援購入が増えている。今後は設備の損壊で販売ができない業者とも連携しながら、能登かきの魅力を発信していきたいです」。そう話す浅井さんは、能登の水産業の創造的復興を見据え、ブランド価値を高める商品の開発も模索しています。

炊き出しから派生される地域コミュニティー



災害緊急支援ネットワーク『OPEN JAPAN』ボランティアスタッフ 川島 莉生さん

日本全国にネットワークを持つ災害支援チーム『OPEN JAPAN』の一員として、これまで多くのボランティア活動に従事してきた川島さん。海外への長期渡航を控えていたにも関わらず、地震発生の3日後には現地入りし、炊き出しの調整役として支援者の受け入れなどを行ってきました。「日頃から地域の横のつながりを強めることで災害時も支え合える。炊き出しはそうしたコミュニティーづくり場でもあるんです」と川島さん。炊き出し需要が落ち着いた今後は、壊れた家屋の再生にも取り組んでいくようです。

『能登高校』1年 灰谷 悠翔さん(左)、南山 玄英さん(右)

人手不足が深刻な被災地では、若い力が躍動します。能登町小木では、地元の高校生が避難所の運営を手伝うチームを結成。自身も避難所生活を強いられる中、物資の仕分けや食料の運び出しなどを率先して行い、避難する人々の生活を支えてきました。「少しでも場の雰囲気や和ませたくて、段ボールベッドに絵を描いたりもしました。いろんな人から感謝されるのがうれしかったですね」と灰谷さん。二人は高校の授業が再開して以降も合間の時間で避難所を訪れ、物資の仕分けなどを手伝っているそうです。



明るく、楽しく避難所を支える高校生コンビ

被災者の気持ちに寄り添った

こころのケアを



『金沢赤十字病院』看護師 松田 慧さん

地震発生後、「日赤救護班」の一員として珠洲市に派遣された松田さんは、刻々と変化する被災地の医療ニーズに対応しながら、避難者の診察補助や心のケアにあたりました。避難所では物資や設備、衛生面などの状況をアセスメント。その情報は県にも共有され、現実的な支援へとつながっていきました。「災害がもたらす精神的な影響は想像以上

上。ささいな事でも被災者の声に耳を傾けるよう心がけました」と松田さん。任務を終えた現在は、能登の病院から移ってきた患者さんの心のケアも行っています。



若き職人の仕事を守り輪島塗の伝統をつなぐ

『田谷漆器店』代表 田谷 昂大さん

能登半島地震により壊滅的な被害を受けた輪島塗業界。200年の伝統を誇る『田谷漆器店』もまた、自社工場の全壊により製造中止を余儀なくされています。そんな中で代表の田谷さんは、輪島全体の漆器店で被災を免れた輪島塗の代理販売を開始。また、輪島塗業界の立て直しを目的としたクラウドファンディングも立ち上げました。「この業界には若い職人も多い。輪島塗の伝統をつなぐためには、若手の仕事を確保するのが大事だと考えました」。4月には被災した職人の作業場となる仮設工房が完成予定です。



水道の早期復旧を目指し市内を駆け巡る



『株式会社シラヤマ』配管工 桜井 蓮太さん

地震の影響により能登地方の主要浄水場が多数被災。長期化する断水が生活再建の妨げとなっています。「自分が住んでいる家も断水していて、お風呂に入れないうつらかったですね」と桜井さん。県内では、今もなお一日も早い復旧に向けた懸命の作業が続けられています。

各種相談窓口
お気軽にご相談ください

※内容によって、市町等関係機関の窓口をご案内します

① 被災地外、ホテル・旅館への避難	2次避難所運営事務局 コールセンター ☎0120(266)755
② 仮設住宅入居 住宅再建	土木部建築住宅課 ☎076(225)1777
③ 生活費	健康福祉部厚生政策課 ☎076(225)1478 県社会福祉協議会 ☎076(208)3503
④ 医療	健康福祉部医療対策課 ☎076(225)1431
⑤ 健康	健康福祉部健康推進課 ☎076(225)1458
⑥ 子育て支援	健康福祉部少子化対策監室 ☎076(225)1447
⑦ 高齢者福祉	健康福祉部長寿社会課 ☎076(225)1487
⑧ 障害者福祉	健康福祉部障害保健福祉課 ☎076(225)1426
⑨ 県税	総務部税務課 ☎076(225)1271 市税・町税は各市町の税務担当部署、国税は住所地所管の税務署へそれぞれお問い合わせください。
⑩ 教育	能登半島地震・進路・学習相談テレホン ☎0120(873)783
⑪ 事業者支援 (補助金・融資等)	ワンストップ相談窓口 ☎0120(330)955 能登事業者支援センター ☎0768(26)2380
⑫ 雇用・就労	いしかわ就職・定住総合サポートセンター(ILAC) ☎076(225)4540
⑬ 農業者・漁業者支援	JAのと本店 ☎0120(338)250 JA内浦町営農経済課 ☎0120(338)560 JA能登わかほ旧徳田支店 ☎0120(338)570 JA志賀本店 ☎0120(338)720 県珠洲農林事務所 ☎0120(338)760 県農業会館 ☎0120(338)633 農林水産部森林管理課 ☎076(225)1643 県漁業協同組合(本所) ☎076(234)8815
⑭ 消費者トラブル	消費生活支援センター ☎076(255)2319
⑮ 外国人支援	観光戦略推進部国際交流課 ☎076(225)1382 県災害多言語支援センター (県国際交流協会) ☎076(262)5932
⑯ 性暴力・DV・女性の悩み	いしかわ性暴力被害者支援センター☎#8891 県配偶者暴力相談支援センター☎#8008 県女性相談支援センター☎076(223)8655

受付時間/午前9時～午後5時45分
(①②は午後6時まで、③④は午後5時まで、土日祝対応)

最新の支援制度相談窓口



令和6年 能登半島地震の被害

2024年1月1日午後4時10分、能登地方で発生した最大震度7の地震は、奥能登を中心に甚大かつ広範囲な被害を及ぼしました。



写真で見る被害状況

データで知る能登半島地震

M7.6
最大震度7

死者 241人
うち災害関連死疑い15人

安否不明者 5人

負傷者 1,188人
重傷312人 軽傷876人

住家被害 80,640棟
全壊・半壊・一部破損・床上浸水・床下浸水

避難者 最大 34,173人
3月12日時点 9,760人

停電 最大 39,900戸
3月12日時点 240戸 現在復旧作業中

携帯支障 最大 70~80%
3月12日時点 1%以下

断水 最大 110,000戸
3月12日時点 15,170戸

参考

平成19年能登半島地震の被害

●地震規模……………M6.9 (最大震度6強)
●死者……………1人
●負傷者……………338人
●住家被害……………29,382棟

輪島市 最大震度7

人口……………21,903人
世帯数……………9,235世帯

死者 102人
震災関連死疑い3人

負傷者 516人

住家被害 14,770棟

志賀町 最大震度7

人口……………17,239人
世帯数……………7,296世帯

死者 2人

負傷者 103人

住家被害 6,940棟

珠洲市 最大震度6強

人口……………11,721人
世帯数……………5,283世帯

死者 103人
震災関連死疑い6人

負傷者 249人

住家被害 8,676棟

能登町 最大震度6強

人口……………14,277人
世帯数……………6,206世帯

死者 8人
震災関連死疑い6人

負傷者 35人

住家被害 6,156棟

七尾市 最大震度6強

人口……………47,198人
世帯数……………20,075世帯

死者 5人

負傷者 3人

住家被害 16,213棟



県が管理する道路では最大42路線87カ所で通行止め(1月4日時点)

金沢～能登間の道路通行状況

△=道路に大きな被害(3月12日時点)



※人口・世帯数は1月1日時点

死者・負傷者・住家被害は県で取りまとめる「被害等の状況について」第108報(3月12日時点)より

応急復旧と 創造的復興に 全力で取り組みます

発災直後から、県は国や全国の自治体、自衛隊からの支援を受けながら、人命救助やインフラの確保、物資の支援、避難所などでの生活支援に全力で取り組んできました。しかし、今もなお多くの方々が避難生活を余儀なくされているほか、観光や伝統工芸など産業への被害も深刻で、事業者は大きな打撃を受けています。こうした状況を踏まえ、県当初予算が過去最高の1兆円超に決定。このうちの5割超の約5600億円を生活の再建、生業の再建、災害復旧の3つを柱にした地震対応に充てています。

また、発災から1カ月となる2月1日には「石川県令和6年能登半島地震復旧・復興本部」を設置し、創造的復興に向けた基本方針を示しました。一日も早く被災者の生活と生業を取り戻し、能登の創造的復興を実現できるよう、全力で取り組んでいきます。



飯田港(珠洲市)を視察する馳知事

住まい について

ニーズに応じた3タイプの応急仮設住宅を建設

これまで迅速かつ大量に供給できるプレハブ型の建設を進め、熊本地震を上回るペースで着工。今後は、地域のニーズを踏まえ、一定期間住み続けることを前提とした仮設住宅を整備していきます。木造の長屋を市街地などのまとまった空き地に建設する「熊本モデル」は3月末までに約600戸の着工を目指します。さらに、木造戸建風の建物を集落の空き地に建設する「石川モデル」も建設予定です。仮設住宅には、梅雨前までには要望を伺い、夏ごろまでにはおむねご入居いただきたいと考えています。入居を希望される方は、災害時に居住する各市町の担当窓口へ直接お問い合わせください。



プレハブ型(従来型)

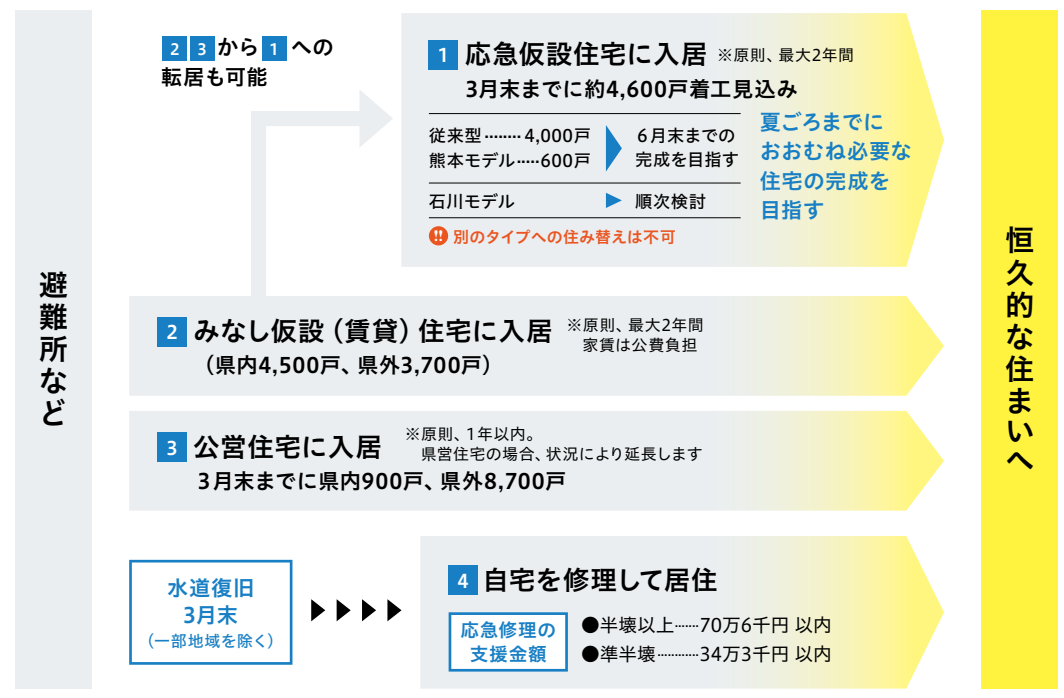


まちづくり型(熊本モデル)



ふるさと回帰型(石川モデル)

賃貸住宅や公営住宅も含め3月末までに2万2千戸を確保



※全壊など、一見して住宅に居住することが困難であると認められる場合や、ライフラインが途絶し、長期にわたり自宅に居住できないと市町長が認める地域の場合は、防災証明書の発行前でも①-③に入居出来ます。

今後の住まいについて不安を抱える方が多い中、県では被災者や市町のニーズを伺いながら、住まいの確保に向けた支援を進めています。



創造的復興に向けた基本方針

理念

- 必ず能登へ戻す
- 単なる復旧にとどめず、人口減少など課題を解決しつつ、能登ブランドをより一層高める「創造的復興」を目指す

原則

- 被災地の住民・事業者の声を聞く
- 若い世代の力の活用
- 人口減少などこれまでの課題の解決
- 民間・外部の力の活用

6つの柱

- インフラの早期復旧・強化
- 農林水産業、伝統産業、観光産業など能登の特色ある生業の再建
- 暮らしと地域コミュニティの再建
- 危機管理、安全・安心の充実
- 今回の地震の教訓を踏まえた災害に強い地域づくり
- 能登ブランド強化に向けた創造的復興リーディングプロジェクトの創出

※第1回石川県令和6年能登半島地震復旧・復興本部会議資料より

被災地や有識者の声をお聞きし、「復興プラン」を策定

能登には、豊かな食、温泉、伝統工芸、世界農業遺産といった自然や文化と、特色ある生業が重なり合った独自の魅力があります。現在、こうした「能登ブランド」の魅力を一層高める創造的復興を目指し、「復興プラン」の策定を進めてお

り、3月には被災地の方々や有識者の声をお聞きし骨子案をお示しました。今後、具体の事業を盛り込むなど骨子に肉付けする作業を行い、6月議会の前までには、最終的な復興プランの案として取りまとめる方針です。



詳しくはこちら

被災地の支援を 願います

災害ボランティア募集中

これまでも多くの皆さまに活動いただき、誠にありがとうございました。被災地の復興に向け、皆さまの活動が「希望の光」となっています。ボランティア活動にご協力いただける方は、特設サイトをご確認ください。



災害義援金募集中

皆さまからの温かいご支援に感謝申し上げます。お預かりした義援金は、県災害義援金配分委員会の決定に基づいて、順次公平に配分します。

第1次配分対象者(①②の2種類)

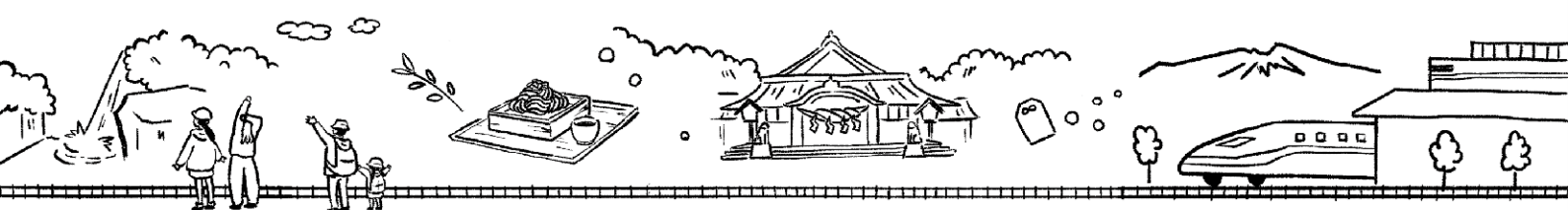
- ①人的被害・住家被害を受けた方
- ②2024年1月1日時点で、七尾以北6市町に住居登録されていた方

申請・問い合わせ

- ①各窓口(2次元コード参照)
- ②コールセンター(午前9時~午後6時) ☎012011021829



今後も、復興に向けた取り組みを誌面でご紹介していきます。



北陸新幹線の魅力がギュッと詰まった「トレインパーク白山」が新たに誕生！



1F 新幹線 学びと体感エリア
北陸新幹線を運転してみよう
 実際に使われていた台車やパンタグラフなどの部品を実物展示。運転士が訓練で使用するシミュレーターも体験できます。



1F 観光情報 おみやげエリア
観光に役立つサービスが満載
 白山市、能美市、野々市市、川北町の観光情報を発信するほか、各地域の特産品やオリジナルグッズを販売しています。



4F 新幹線 見学エリア
実物の車両を間近で見学
 白山総合車両所内の点検や整備の様子を見学できるほか、時速260キロ以上で走行する新幹線を間近にすることができます。

5F 屋上 展望室エリア
自然をテーマにした子どもの遊び場

自然をテーマにした子どもの遊び場



3F こどもあそびエリア
 ユネスコ世界ジオパークにも認定される、白山市の豊かな自然を表現した屋内遊具を設置。海の生き物の映像が人の動きによって変化するデジタルアトラクションなど、非日常的な体験が満載です！

時速260キロの新幹線が目の前を通り抜ける！

2024年3月、北陸新幹線の車両基地がある白山市宮保町に「白山市立高速鉄道ビジターセンター（愛称：トレインパーク白山）」が誕生しました。この施設では北陸新幹線が誇る最新技術や車両基地の様子

を紹介するほか、実際に走行する新幹線を間近で見られる展望台を設置。白山市および近隣地域の観光案内、特産品の販売なども行います。白山エリアの新たなシンボルで、新幹線の魅力を体感しよう。

白山市宮保町 2828-1 TEL.076-235-9677

COMMENT!
 親子で楽しめる施設です

スタッフ 津幡千佳子さん

新たな情報、ぞくぞく

いしかわNEWS

いしかわ応援旅行割（第1弾）

お得に旅して 石川を元気に！

能登半島地震により観光需要が落ち込んでいる県内の観光業界を支援するため、旅行代金が最大50%割引（上限額あり）となるキャンペーンが開始されました。県内の旅館・ホテルの協力のもと、今後は2次避難者を受け入れながら、残りの客室で観光客を誘致していくこととなります。第1弾の実施期間は4月26日まで（予算が無くなり次第終了）。対象の施設や申込方法などの詳細は公式ホームページにて。

- 実施期間…… 2024年3月16日（土）～4月26日（金）
※第2弾は予算の範囲内でゴールデンウィーク以降実施予定
- 予約開始日… 2024年3月12日（火）
- 対象者…… 石川県内の登録宿泊施設への旅行・宿泊
- 申込方法…… 予約開始日以降、公式ホームページ掲載の宿泊施設や旅行会社で、本事業の申込である旨を伝える

お問い合わせ 北陸応援割「いしかわ応援旅行割」キャンペーン事務局
 ☎0570-099-023（午前9時～午後5時、土日祝を除く。ただし、4月7日までは土日祝も開設）

北陸 応援割 **3月16日 START!**
いしかわ応援旅行割
キャンペーン

宿泊サービス 単体商品 最大20,000円	宿泊（1泊）を含む 交通付き旅行商品 最大20,000円
宿泊（2泊以上）を含む 交通付き旅行商品 最大30,000円	周遊型旅行商品（宿泊地が2県以上） 最大35,000円



公式ホームページはこちら

東京と大阪の情報発信拠点



3月9日 OPEN!

首都圏アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」
 県のアンテナショップが東京駅近くに移転オープン！新幹線県内全線開業をPRするほか、能登の特産物を販売する「復興応援ブース」を設置。復興状況も随時発信していきます。



7月 OPEN!

関西情報発信拠点「HOKURIKU+（ほくりくプラス）」
 7月に開業する「KITTE大阪」には、将来の大阪延伸を見据えた北陸3県の情報発信拠点がオープン。物販エリアや地酒バーも併設し、石川の観光・食・文化の魅力を伝えます。

IRいしかわ鉄道

新たに県内全区間が開業したIRいしかわ鉄道。“愛(I)のある(R)”鉄道として、これからも皆さんに親しんでいただけるような取り組みを実施していきます。

北陸3県2Dayパスでお得に乗車！



あいの風とやま鉄道・IRいしかわ鉄道・ハピラインふくいの全区間が2800円で2日間乗り放題のお得な乗車券を発売！デジタル乗車券を提示すると、兼六園や金沢城といった観光施設の割引も。3県の魅力を電車で巡ろう！



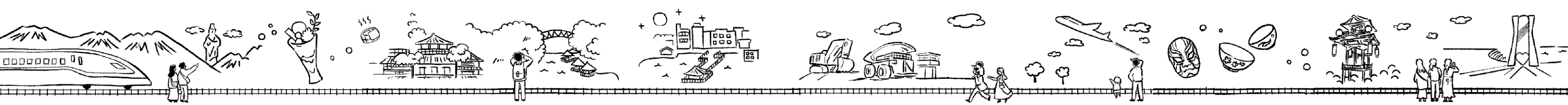
公式キャラクターは「あいまるくん」！



公式マスコットキャラクターの「あいまるくん」は、前田利家公の鯨尾兜（なまずおかぶと）のような長い帽子をかぶり、大きなまといを振ってIRや乗客を応援します。IRいしかわ鉄道のイベントなどに登場し、人気者です！



全国からも注目される石川県。ぜひみんなで盛り上げていきましょう！



加賀温泉郷がもっと楽しく、もっと便利に！

開湯1300年の歴史を誇り、多くの文化人に愛されてきた加賀温泉郷では、北陸新幹線の加賀温泉駅開業をきっかけに、新たな魅力が続々と登場。今回はそんな加

賀市を舞台に活躍する皆さんが、ご当地ならではの絶品グルメと市内の回遊に便利な新サービスをご紹介します。魅力満載の加賀に足を運んでみませんか。

加賀の絶品グルメと新サービスを一挙に紹介！



加賀カニごはん

おもてなし文化が息づく加賀市ならではのぜいたくな御膳。メインは貴重な香箱ガニを丸ごと1匹使った、うまみたっぷりのカニごはん。旬の野菜や魚を使った小鉢5品、味噌汁、献上加賀棒茶などセットメニューも充実しています。伝統工芸の山中漆器（お盆・汁茶碗）と丸谷焼（小鉢皿一式・加賀棒茶敷き皿）に盛り付けているので見た目も華やか！ぜひ食べてみて！

紹介者



徳前 藍さん フリーアナウンサーとして活動しながら、山代温泉にある「吉田屋山王閣」の若女将も務めている。加賀を盛り上げるためにSNSなど積極的に発信中！



詳しくはこちら

加賀パフェ

加賀野菜を使ったアイスや地元の温泉卵などをふんだんに盛り付けた地産地消5層パフェ。セットで提供される献上加賀棒茶との相性もぴったりです！

紹介者



丸谷礼奈さん 家業である献上加賀棒茶や日本茶の製造販売を行う、加賀市に拠点を置く「丸八製茶場」勤務。店舗マネージャー、商品企画などを担当。

見た目も
美しい！



山中温泉アイスストリート

50種類以上のオリジナルアイスが楽しめる女子旅に人気のスポット。温泉から作った「菊の湯アイスクャンディー」など個性派アイスが満載です。

紹介者



山崎佳菜さん 生まれも育ちも山中温泉。2023年8月に山中温泉ゆげ街道にセレクトショップ&カフェ「Amu Shop&Cafe」をオープン。

スタンプラリーも
あります！



伝統を未来につなぐ、ひと・もの・情報の交流拠点。

伝統工芸から世界シェアを誇るメーカーまで、ものづくりに焦点を当てた産業観光都市として地域の魅力を発信してきた小松市。その勢いは北陸新幹線開業によってさらに加速しています。これまでまちづくり

の中心として学びと交流の場が整備されてきた小松駅周辺に、新たな交流拠点となる「Komatsu九」が誕生。ふらっと立ち寄れば新たなアイデアが生まれるかも。気軽に利用してみてくださいね。



小松の歴史と文化が香る、駅直結の新スポット

Komatsu 九 (コマツナイン)

「小松と もっと深く、おもしろく関わる」をテーマに、地域の魅力を幅広く発信する観光交流センター。施設は4つのエリアで構成され、観光案内所を併設するスーベニア&カフェエリアには、地元の特産品などを販売する「小松土産店」やカフェが入居。ラーメン、カレー、パンなど、さまざまなジャンルのグルメが集結したフードエリアでは、小松ならではの食文化も垣間見ることが出来ます。

小松市土居原町 13-18 TEL.0761-58-2775



コワーキングエリア

利用者同士が交流できるコワーキングスペースを設置。ビジネスや地域に関する交流イベントも随時開催している。



ギャラリー&イベントエリア

八日市地方遺跡の出土品を展示するほか、大型モニターで小松市の情報を発信中。レンタルスペースとしても利用可。



加賀温泉駅と観光地を ライドシェアでつなぐ

加賀市では一般ドライバーが自家用車で乗客を有償送迎する加賀市版ライドシェアを3月から開始。予約と配車はUber社のアプリを活用し、加賀市民や観光客の移動手段を補完します。



ハンドルやアクセルがない 自動運転バス化の実証へ！

今年4月には加賀温泉駅から山代温泉までの約5キロの区間で、最新鋭の自動運転バスを実証実験。加賀市民や来訪者の移動手段として将来的な実用を目指しています。

加賀温泉駅をご紹介



べんがらごうし
紅殻格子を取り入れた温泉郷らしい外観が特徴的。コンコースの待合室は丸谷焼のタイル、入口上部は加賀地方特有の赤瓦で装飾されています。

小松駅をご紹介



金属製の外壁パネルにより白山の雪景色を立体的に表現。コンコースには小松市の伝統工芸品や、日用衫や日華石などの地場産材が使われています。

COMMENT!

伝統工芸の
装飾にも注目！

観光案内所
スタッフ
北村美里さん



表紙撮影協力：加賀温泉駅（JR西日本）

おまたせ!

\\ようこそ新幹線\\

いしかわカガツながる春。

2024年3月16日(土)、北陸新幹線の金沢-敦賀間が開業し、県内のすべての区間が開通しました。

「はじめまして」「ようこそ」

「ひさしぶり」「おかえりなさい」

新たに誕生した小松駅と加賀温泉駅を中心に、南加賀エリアではいろいろな出会いや交流が生まれています。

温泉にグルメ、歴史ある街並みと伝統工芸、霊峰白山の絶景。

まちを訪れた観光客に自慢したいモノやコトはたくさんあるけれど、
わたしたち自身も、気づいていなかった石川の魅力に出会えるかも——。

南加賀エリアでは、新幹線開業に合わせて、

大人も子どもも楽しめる魅力的な取り組みや施設が続々と登場。

心地よい春の風を感じながら、出かけてみませんか。

新幹線がもたらす活力は、

被災地域の復興の大きな力になる。

そう信じて。



TOPICS
1

新幹線の発車メロディは松任谷由実さんが作曲!



小松駅と加賀温泉駅の発車メロディは、石川県観光ブランドプロデューサーとして県の魅力を発信し続けている松任谷由実さんが制作。地域の雰囲気やイメージが表現された、素晴らしいメロディを、ぜひ聴いてみよう!



TOPICS
2

応援消費で能登を応援しよう!



能登半島地震で売上げが減少した県内の事業者を支援する「応援消費おねがいプロジェクト」を実施中。このロゴマークを目印に石川のものを買って、食べて、飲んで応援の輪を広げましょう!



かがやきを増す加賀・小松・白山 3市の話題をご紹介します!

すてきな毎日を、いつまでも

もっといしかわ

新幹線が、人、まち、
未来をつなぐ!



能登のために、石川のために
**応援消費
おねがい**
プロジェクト
石川県

